

東京国立博物館ニュース

展示と催し物案内 [第724号]

2014
4-5



2 本館 15～19室 リニューアルオープン!

3 4月15日(火)、「正門プラザ」オープン! / 博物館でお花見を

4 特別展「栄西と建仁寺」 5 特別展「キトラ古墳壁画」 / 特別展「台北 国立故宮博物院-神品至宝-」

6 2014年度 特別展の予定 / 本館2室 日本美術の流れ 国宝室の予定

7-11 総合文化展 見どころ案内 2014年4月・5月 / 本館・東洋館・平成館・法隆寺宝物館 11 保存と修理情報②

12-13 みどりのライオン 教育普及事業 [講演会 / ワークショップ / ボランティアによる事業]

14 INFORMATION 15 TOPICS 16 東京国立博物館 2014年4月・5月の展示・催し物

文化財にも
お医者さんが
いるのよ



17室 保存と修理

当館の保存と修理には、「臨床保存」という考え方のもと、「診断」「予防」「修理」の3つの活動があります。17室では、これらの活動の様子を大画面スクリーンによる映像(約10分)でお楽しみいただけるようになります。「予防」の重要な空間である収蔵庫棚の状況も一部再現しました。さらに、書画、刀剣、漆工、染織などの分野で使用する道具や材料を常設展示し、ご興味のあるものからご覧いただけます。

実際の収蔵庫棚の様子。木製の棚板に置かれた作品は滑りにくく、安全です



16室 アイヌと琉球

16室では、アイヌと琉球の優品をご紹介します。4月15日からの展示のテーマは、アイヌの人びとの祈りです。アイヌの人びとは、豊かな自然の事物すべてに「魂」が宿ると考え、その存在を「神」と位置づけて深い祈りを捧げてきました。アイヌの人びとが日々の暮らしの中のさまざまな場面で用いた多彩な祀りの道具を展示し、その祈りのすがたをご紹介します。

アイヌ鍬形

北海道アイヌ 19世紀
尾田勝吉氏・泉麟太郎氏寄贈
(展示期間:5/27~7/6)
兜の前立を模したアイヌの呪術具。病の快復などを祈りました



本館15~19室 リニューアルオープン!

高透過・低反射のガラスを使ったケースが導入され、より見やすく明るくなった展示室の見どころについてご紹介いたします。

4月15日(火)

トーハクは
どんどん進化
してるんだほ!



リニューアル
オープン関連
ギャラリートーク
を行うほ。
詳細は12ページを
見てほー



19室 みどりのライオン 体験コーナー

表慶館前のライオン像をマスコットに、「みどりのライオン」と名づけた教育普及スペースです。リニューアル以前からご好評をいただいている、伝統模様のスタンプでポストカードを作る「トーハクでデザイン」、一つの作品がどのように作られたか工程や技法がわかる「トーハクで○○のできるまで」、

さわって楽しむ本館の地図「トーハクをさわろう」、e 国宝がさらに使いやすくなった「トーハクで国宝をさわろう」、そして、ツールの上に手をかざして動かすだけで3Dの作品画像を自由に動かせる「トーハクをまわそう」の5つの体験コーナーを設けました。「みどりのライオン」でワクワクしてみませんか?

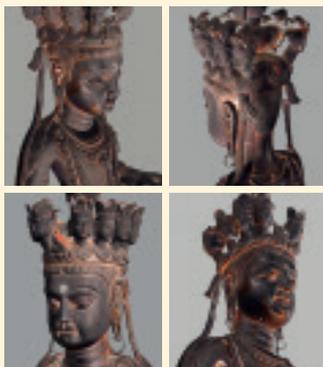


トーハクでデザイン

日本の伝統模様のスタンプで自分だけのポストカードをデザイン

トーハクをまわそう

重文 十一面観音菩薩立像にフォーカス! 展示室では見えづらい細部も色々な角度からご覧いただけます



トーハクくん
をまわそう!



ぐるんぐるん、
目が
回るほー



15室 歴史の記録

当館の歴史資料コレクションの中心をなす地図、拓本、写真等から代表的な資料を展示していきます。特に、日本近代の写真史を代表する名品を月替わりで展示する写真コーナーは必見。また、特定のテーマによる特集も行います。

◎甲州道中分間 延絵図

江戸時代文化3年(1806)
(展示期間:4/15~6/8)
五街道をはじめ江戸時代の街道の様子を詳細に描いた絵図。巻を替えながら通年で展示します



博物館でお花見を

いく種類もの桜が次々に咲き誇る庭園。
そして桜に彩られた古今の名品。
春の美が咲き誇るトータルで、
心に残るお花見をお楽しみください。

3/18(火)
4/13(日)

■ ギャラリートーク すべて14:00～14:30

「着物に咲く桜」

3月26日(水) 本館10室 講師:佐々木佳美(登録室アソシエイトフェロー)

「十二月花鳥図屏風」

4月1日(火) 本館7室 講師:遠藤楽子(出版企画室研究員)

「屏風に咲く桜」

4月2日(水) 本館7室

講師:山下善也(絵画・彫刻室主任研究員)

「桜でつくられた仏像」

4月9日(水) 本館11室 講師:浅見龍介(東洋室長)

■ 桜ワークショップ

「ぬり絵 日本のデザイン、色づかい」

桜を表した作品のぬり絵に色をつけるワークショップです。

3月29日(土)、3月30日(日)、4月5日(土)、4月6日(日)

11:00～15:00 平成館ラウンジ

参加費:無料(ただし、当日の入館料は必要)

* 当日受付。随時参加。ぬり絵シートがなくなり次第終了。

■ 桜コンサート「桜の街の音楽会」

「東京・春・音楽祭」参加アーティストによる無料コンサートを開催します(各20分程度)。

・加藤えりな(ヴァイオリン)

3月25日(火)13:00～ 法隆寺宝物館エントランス

・林はるか(チェロ)

4月1日(火)13:00～ 法隆寺宝物館エントランス

* 3公演とも無料(ただし、当日の入館料は必要)

・Vive!サクソフォン・クワルテット

4月6日(日)11:00～ 正門内池前

* 雨天の場合は本館エントランス

主催・お問合せ:東京・春・音楽祭実行委員会

電話:03-3296-0600 <http://www.tokyo-harusai.com/>

■ 東博句会「花見で一句」

当館の庭園や作品の桜について、一句詠んでみませんか? 投句ポストで俳句募集!

* 入選作品は、東京国立博物館ニュース8・9月号、当館ウェブサイトにて発表、記念品を贈呈します。

■ 桜セミナー

「動物博士とみる 美術になった動物、ならなかった動物」

生態解説のスペシャリストと共に、美術になった動物とならなかった動物についてそれぞれの視点を交えてお話しします。

3月29日(土)13:30～15:00 平成館大講堂

講師:小泉祐里((公財)東京動物園協会恩賜上野動物園 動物解説員)、川田伸一郎(国立科学博物館 動物研究部研究員)、神辺知加(当館 教育講座室主任研究員)

定員:380名(先着順) 聴講料:無料(ただし、当日の入館料は必要)

■ ボランティアによるガイドツアー

桜や、桜にちなんだ作品を取り上げてご案内します。

* 詳しい日程は、本誌巻末の展示・催し物カレンダーをご覧ください。

■ スタンプラリー

展示室で桜マークを探してください。スタンプラリーの台紙は本館玄関で配布しています。スタンプを5つ集めた方にオリジナルバッジをプレゼントします。

春の庭園開放

3月8日(土)～4月13日(日)

エドヒガン、ヤエベニヒガン、ソメイヨシノ、オオシマザクラなど、さまざまな桜が次から次へと咲きます。

10:00～16:00 *雨天中止

■ さくらカフェ MOTOYA EXPRESS

桜の美しい庭園のカフェでひと休み。

10:00～16:00(ラストオーダー 15:45)

*庭園開放期間中開店。雨天中止。



18室 近代の美術

明治時代の日本は、先進諸国に負けない文明国家となるため、西洋の「芸術」の枠組みに合わせて、日本に元々あった古来の物作りの世界を再編しました。ここでは、新たな価値観である「芸術」や「美術」と向き合った近代日本の美術を代表する作者による絵画、彫刻、工芸各分野の名品、優品を紹介します。



ほのお
焔

上村松園筆 大正7年(1918)
(展示期間:4/15～5/25)
女の情念が焔となって画面からあふれだしています



いろせきんろうす
色絵金襴手
双鳳文飾壺

七代錦光山宗兵衛作
明治25年(1892)
シカゴ・コロンプス
世界博覧会
(展示期間:4/15～7/13)
世界を驚かせた精緻で華麗なる明治の工芸

◎老猿

高村光雲作
明治26年(1893)
シカゴ・コロンプス
世界博覧会
(展示期間:4/15～7/13)
気迫に満ちた猿の姿。万博で世界の人人に見せつけた日本の技



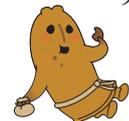
有名な
作品が
たくさん
あるのね



完成イメージ図

正門のチケット売場がリニューアルされ、インフォメーションとミュージアムショップ、さらに託児室をあわせ、「正門プラザ」としてオープンします。
チケット売場にお並びいただくお客様が雨に濡れることのないよう、屋根を設けました。入ってすぐにインフォメーションを設置。ご質問やお困りのことがあればお気軽にお声掛けください。構内マップや当日の主な展示、催しなどが一目でわかる掲示板(デジタルサイネージ)も設けます。

ひと休みながら
情報収集
だほ



アート空間へのお客様の第一歩を演出する当館の顔として、情報センターとして、憩いの場として、皆様にご満足いただけるサービスを目指します。

正門のチケット売場がリニューアルされ、インフォメーションとミュージアムショップ、さらに託児室をあわせ、「正門プラザ」としてオープンします。
ミュージアムショップは、チケットを購入しなくてもご利用いただけます。託児室では、4月23日(水)より月4回、12時30分～15時30分に託児サービス(有料、事前申込制)を開始します。

4月15日(火)、「正門プラザ」オープン!

開山・栄西禪師
800年遠忌

特別展

栄西と建仁寺

The 800th
Memorial of Yosai
Roots of Zen,
Yosai and
the Treasures
of Kenninji

京都・建仁寺の寺宝を中心に、全国の建仁寺派、栄西ゆかりの諸寺から名品が集う、特別展「栄西と建仁寺」。各寺院に伝わった個性豊かな作品をご紹介します。



◎雲龍図(左4幅のうち2幅) 海北友松筆

安土桃山時代・慶長4年(1599) 京都・建仁寺蔵 展示期間:8幅のうち左4幅は3月25日(火)~5月6日(火・休)、右4幅は4月22日(火)~5月18日(日) 4月22日(火)~5月6日(火・休)は全8幅がそろいます!

建仁寺は海北友松作品の宝庫。本展覧会はさながら「海北友松展」



◎風神雷神図屏風

依屋宗達筆

江戸時代・17世紀

京都・建仁寺蔵

全期間展示

教科書などでもおなじみのあの作品を5年ぶりに公開



前号の特別展「栄西と建仁寺」の中世までの紹介に続き、今号は近世以降を紹介します。応仁の乱とその後、三好・細川の争いによる兵火で、建仁寺は多くの堂舎を失いました。近世における建仁寺の再興を象徴するのが、慶長四年(一五九九)の安国寺恵瓊による本坊方丈の再建です。方丈の五室には、狩野永徳、長谷川等伯とならび「桃山の三大巨匠」と称される海北友松が氣宇壮大な水墨画を描きました。また、建仁寺二九五世三江紹益が秀吉の妻ねねの実家である木下家や町衆の広い帰依を受けたことで、高台寺や「風神雷神図屏風」が伝わったとされる妙光寺が建仁寺派に加わりました。江戸時代の京都を代表する画家伊藤若冲や長澤芦雪のほか、京焼の奥田親川や仁阿弥道八の陶磁器が伝わっているのも京都の寺らしい特徴と言えます。

一方、建仁寺派の諸寺においても、長崎の春徳寺には中国の涅槃図が、あの世の入り口六道の辻にある六道珍皇寺には地獄関連の作品が、それぞれ寺の文化的特徴を示す宝物として伝わっています。(田沢裕哲)

平成館

3月25日(火)

5月18日(日)



小野篁立像 院達作

江戸時代・元禄2年(1689)

京都・六道珍皇寺蔵

全期間展示

地獄と現世を往き来たとされる篁。その等身像の迫力たるや!

開山・栄西禪師 800年遠忌 特別展「栄西と建仁寺」

主催:東京国立博物館、建仁寺、読売新聞社、NHK、NHKプロモーション

協賛:ジェイティービー、日本写真印刷

協力:あいおいニッセイ同和損保

観覧料:一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円)

* ()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料。

*障がい者とその介護者1名は無料。

*前売券は2014年3月24日(月)まで、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、展覧会公式ホームページほか、主要プレイガイドにて販売。

お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600

展覧会ホームページ:http://yosai2014.jp/

関連事業

究極の映像と音響を体験!

国宝「風神雷神図屏風」8Kスーパーハイビジョン上映会

期間:4月28日(月)~5月2日(金) 10:00~閉館時間

会場:平成館大講堂 入場無料



涅槃図

清時代・17世紀 長崎・春徳寺蔵 全期間展示

中国請来の涅槃図。釈迦の臨終に達磨が立会う。悲しみよりも楽しさがあふれる涅槃の場面

「特別展」
キトラ
古墳壁画
Special Exhibition "Mural Paintings of the Kitora Tomb"

本館特別5室

4月22日(火)―5月18日(日)

玄武・朱雀・白虎と
十二支の子・丑を公開!



壁画剥ぎ取りの作業風景

展示では、古墳壁画の保存管理への取り組みを、写真パネルや作業に使われた道具などを使って紹介します

奈良県明日香村に所在するキトラ古墳は七世紀末から八世紀初めに造営された直径十三・八メートルの円墳です。一九八三年に石室の盗掘穴からファイバースコープを挿入して内部を調査し、北壁に描かれた玄武が発見され、同村の八世紀初め頃に造営された高松塚古墳に続き、わが国で二例目の大陸風極彩色壁画古墳であることが判明しました。



玄武(北壁)

右向きに巡行する四神は永遠の眠りにつく被葬者を見守っています
[写真:奈良文化財研究所]



白虎(西壁)

朱雀(南壁)



特別展「キトラ古墳壁画」

主催:文化庁、東京国立博物館、東京文化財研究所、奈良文化財研究所、国土交通省近畿地方整備局、奈良県教育委員会、明日香村

共催:朝日新聞社
協賛:岡村印刷工業

特別協力:情報通信研究機構、大塚オーミ陶業、日本通運

観覧料:一般900円(800円)、大学生700円(600円)、高校生400円(300円)、中学生以下無料

* ()内は前売・20名以上の団体料金。
*障がい者とその介護者1名は無料。
お問合せ:ハローダイヤル03-5777-8600
展覧会ホームページ<http://kitora2014.jp>

関連イベント

記念講演会

「キトラ古墳壁画保護の歩み」

日時:4月26日(土)13:30～15:00

- キトラ古墳壁画保護の歴史
建石徹(文化庁文化財部古墳壁画室・古墳壁画対策調査官)
- キトラ古墳壁画の取り外しと修理
川野邊渉(東京文化財研究所文化遺産国際協力センター長)
- キトラ古墳壁画の材料調査
高妻洋成(奈良文化財研究所蔵文化財センター保存修復科学研究室長)
- 鼎談 キトラ古墳壁画の保護から学ぶもの
建石徹・川野邊渉・高妻洋成
コーディネーター:齊藤孝正(当館学芸企画部 席研究員)

「キトラ古墳壁画に迫る―高松塚古墳壁画との比較から―」

日時:5月3日(土)13:30～15:00

講師:有賀祥隆(東北大学名誉教授)

会場:平成館大講堂
定員:各講演380名(事前申込制、応募者多数の場合抽選)
聴講料:無料(ただし、本展覧会の観覧券が必要。半券でも可、その場合は別途、入館料が必要)
申込方法:往復はがきの[往信用裏面]に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・希望する講演会の日時(4/26または5/3)、[返信用表面]に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお申込みください。
*1枚のはがきで、1つの講演会につき、最大2名の申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。消費税率改定のため、新料金表示(104円)の往復はがきをご使用いただくか、旧往復はがきは返信用に2円切手を貼ってお申込みください。
〒106-0032 東京都港区六本木4-8-7 六本木三河台ビル7階
特別展「キトラ古墳壁画」広報事務局(4/26または5/3)係
申込締切:4月4日(金)必着

特別展「台北 國立故宮博物院―神品至宝―」

特別後援:日華議員懇談会

主催:東京国立博物館、國立故宮博物院、NHK、NHKプロモーション、読売新聞社、産経新聞社、フジテレビジョン、朝日新聞社、毎日新聞社、東京新聞
特別協力:TBS、テレビ朝日、日本テレビ放送網、共同通信社

協力:チャイナ エアライン

観覧料:一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生700円(600円/500円)、中学生以下無料。

* ()内は前売/20名以上の団体料金。
*障がい者とその介護者1名は無料。
お問合せ:ハローダイヤル03-5777-8600
展覧会ホームページ:
<http://www.taipei2014.jp>



翠玉白菜 清時代・18～19世紀
台北 國立故宮博物院蔵
台北故宮一の人気作品

Treasured Masterpieces from
特別展 the National Palace Museum, Taipei

台北 國立故宮博物院

至神品
至宝

平成館
本館特別5室

6月24日(火)―9月15日(月・祝)

門外不出の「翠玉白菜」など皇帝の至宝 百八十六件を展示!

台北 國立故宮博物院の六十九万点に及ぶ収蔵品の多くは、宋時代から元・明・清時代にわたる歴代皇帝のコレクションを受け継いだものです。本展は序章「皇帝コレクションの淵源」、第1章で宋・元時代の書画を中心とする「中国士大夫の精神」、第2章は元・明・清時代の工芸品を紹介する「天と人との競合」、第3章では清朝皇帝の世界を示す「中国伝統文化の再編」で構成されます。

今回が海外初公開となる「翠玉白菜」等、数々の名品を通して中国文化の特質と素晴らしさをお楽しみください。
(富田淳)

★「翠玉白菜」展示期間[6月24日(火)～7月7日(月)]は無休、連日20時まで特別開館。



開山・栄西禪師 800年遠忌
特別展
「**栄西と建仁寺**」

3月25日(火)～5月18日(日)

平成館

京都・建仁寺を開いた栄西禪師の800年遠忌にあわせ、国宝「風神雷神図屏風」を筆頭に、建仁寺所蔵の名宝や栄西ゆかりの建仁寺派の諸寺の宝物が一堂に。建仁寺の文化的功績に光を当てます。



●風神雷神図屏風(右隻)
依屋宗達筆

江戸時代・17世紀 京都・建仁寺蔵

2014年日中韓国立博物館合同企画
特別展

「**東アジアの華 陶磁名品展**」

9月20日(土)～11月24日(月)・(休)

本館特別5室

日本・中国・韓国の国立博物館が協力して実施する初めての合同企画展。世界的に高い評価を得ている東京国立博物館・中国国家博物館・韓国国立中央博物館が所蔵する陶磁器の名品を展示します。



●色絵月梅図茶壺

仁清作 江戸時代・17世紀

特別展

「**キトラ古墳壁画**」

4月22日(火)～5月18日(日)

本館特別5室

奈良県明日香村のキトラ古墳は高松塚古墳とならぶ大陸風壁画古墳です。四神のうち朱雀、玄武、白虎、十二支のうち子・丑の壁画5点を明日香村以外では初めて公開します。



キトラ古墳壁画 「四神」より「朱雀」
飛鳥時代・7世紀末～8世紀初め
[写真: 奈良文化財研究所]

「**日本国宝展**」

10月15日(水)～12月7日(日)

平成館

祈り信じる「かたち」としての「国宝」を通し、日本の文化・精神の形成を見つめ直す壮大な試みです。展示される作品はすべてが国宝。まさに「日本文化の粋」が集結する展覧会です。



●勢至菩薩坐像

(往生極楽院阿弥陀堂所在)
平安時代・久安4年(1148) 京都・三千院蔵

特別展

「**台北 國立故宮博物院
一神品至宝一**」

6月24日(火)～9月15日(月)・(祝)

平成館

本館特別5室(6月24日～7月7日)

台北 國立故宮博物院が収蔵する優れた文化財から、「翠玉白菜」(6月24日～7月7日限定公開)など代表的な作品を厳選し、歴代の皇帝のコレクションを通して中国文化の特質や素晴らしさを広くご紹介します。



人と熊

清時代・18～19世紀
台北 國立故宮博物院蔵

特別展

「**みちのくの仏像**」

2015年

1月14日(水)～4月5日(日)

本館特別5室

東北地方には魅力的な仏像が多く残ります。その顔は悟りを開いた超越者というよりは、力強く、それでいて優しい、人間味に溢れる表情です。展覧会初出品作品を含め、東北地方を代表する仏像をご覧いただけます。



●薬師如来坐像

平安時代・9世紀
福島・勝常寺蔵



4/22(火)
～5/25(日)

●延喜式
卷十二・卷十六
平安時代・11世紀



8/5(火)
～9/15(月)・(祝)

●瀟湘臥遊図巻
李氏筆 中国
南宋時代・12世紀



11/26(水)
～12/23(火)・(祝)

●破墨山水図
雪舟等楊筆
室町時代・明応4年(1495)



2015年
2/17(火)
～3/15(日)

●繪図屏風
狩野永徳筆
安土桃山時代・16世紀



5/27(火)
～7/6(日)

●法華経
(久能寺経)信解品
平安時代・12世紀
静岡・鉄舟寺蔵



9/17(水)
～10/13(月)・(祝)

●風信帖
空海筆
平安時代・9世紀
京都・教王護国寺蔵



2015年
1/2(金)
～1/12(月)・(祝)

●松林図屏風
長谷川等伯筆
安土桃山時代・16世紀



2015年
3/17(火)
～4/12(日)

●花下遊楽図屏風
狩野長信筆
江戸時代・17世紀



7/8(火)
～8/3(日)

●納涼図屏風
久闕守景筆
江戸時代・17世紀



10/15(水)
～11/24(月)・(休)

●寛平御時后宮歌合
(十卷本歌合)
平安時代・11世紀



2015年
1/14(水)
～2/15(日)

●法華経巻第六(色紙)
平安時代・12世紀
和歌山・金剛峯寺蔵



本館2室も
見逃せない
ほー



本館特別 2室

ニューフェイスを堂々お披露目

特集 「平成25年度新収品」

5月20日(火)～6月1日(日)



振袖 鶺鴒縮緬地桜藤
菊尾長鳥模様

江戸時代・19世紀
阿部美代子氏寄贈

桜・藤・菊といった四季の
花々や尾長鳥が刺繍されて
います

平成25年度のトータルは購入や御寄贈などを通して、書画・工芸・歴史資料といった多種多様な文化財を新たに収蔵品に加えることができました。本特集では、公家の少女が江戸後期に着た「振袖 鶺鴒縮緬地桜藤菊尾長鳥模様」や貴重な会津八一の書簡類など、新収品のなかでも選りすぐりの品々を一挙に公開します。当館の所蔵になって初のお披露目となるこの機会を、ぜひお見逃しなく。また、この特集を通じて、当館の大切な事業のひとつ「文化財の収集」について、ご理解を深めていただければ幸いです。

(川村佳男)

本館 4室 茶の美術

庭園の茶室・転合庵ゆかりの茶入

耳付茶入 銘於大名

5月18日(日)

小堀遠州が八条宮智仁親王より拝領したと伝えられる茶入です。面取手に属し、両肩には丸穴のある三角の耳が付きます。遠州によって水滴形から現在のよな独特な形に仕立てられました。

この茶入拝領にあわせ、伏見屋敷に席を設けた際に使われたのが当館の庭園に立つ転合庵です。茶入と茶室は、度重なる移転によって一時別離しますが、明治に再び一緒にになり、昭和三十八年、ともに現在の地へと移ってきました。(横山梓)



耳付茶入 銘於大名

美濃 江戸時代・17世紀 塩原千代氏寄贈

春の庭園開放(3/8(土)～4/13(日))に
あわせて展示します

特集

「平成26年 新指定 国宝・重要文化財」

4月22日(火)～5月11日(日)

● 本館8室

主催：文化庁、東京国立博物館

本館 7室 屏風と襖絵

特別展「栄西と建仁寺」とあわせて見たい名画

重文 琴棋書画図屏風

4月8日(火)～5月18日(日)



◎琴棋書画図屏風(部分)

海北友松筆

江戸時代・17世紀

人物などを着色で描く一方で景色を水墨で描いた友松らしい作品

琴棋書画は、中国で文人高士の教養としての四つの芸とされ、禅宗絵画のテーマとして描かれてきました。海北友松(一五三三～一六一五)はこの画題を好み、建仁寺本坊をはじめとして今も何点かの作品が残っています。この屏風では、通例の高士ではなく、唐美人が四芸を楽しむ趣向で描かれています。建仁寺に残る友松作品と比べると色彩豊かで華やかな本図は、建仁寺の作品群よりも少し後に描かれたものです。特別展「栄西と建仁寺」に展示されている友松筆「重文「琴棋書画図屏風」と比べてみると、その違いが一層楽しめると思います。(田沢裕賀)

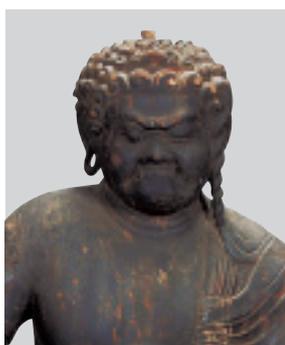
本館 11室 彫刻

どこが違う? お顔を見比べてみよう

不動明王立像

6月8日(日)

今回展示する二体の不動明王立像の顔をご覧ください。右の顔、髪は直毛を櫛で梳いてまとめ、両目を見開いて上の歯で下唇を噛みます。空海が唐(中国)から伝えた姿で、最古の不動明王像である京都・東寺講堂の像もこれと同じです。左の像は巻き髪で、左目をすがめて、右下、左上の牙を露出するというまったく別の顔です。こちらは空海よりも後に中国に留学した僧が伝えた形です。九世紀には唐で流行していた密教を学びに渡航する僧が多く、霊験あらたかな姿を競って伝えたのです。(浅見龍介)



◎不動明王立像(部分)

平安時代・11世紀

どちらの像も、左肩にひと束の髪を垂らすのは共通しています



不動明王立像(部分)

平安時代・11世紀 岡野哲策氏寄贈

◎太刀 銘 貞真

鎌倉時代・13世紀 (財)雲州三谷家明徳会寄贈
筑後・久留米藩の有馬家に伝来した太刀で、外装(写真下)も展示します



◎梨地世龍隠紋蒔絵糸巻太刀 江戸時代・17~18世紀
(財)雲州三谷家明徳会寄贈

4 茶の美術

—5/18日—

◎耳付花入

伊賀 江戸時代・17世紀
伊賀独特の豪放自在な造形にご注目ください



◎黒織部沓形茶碗 銘 鶴太郎
美濃 江戸時代・17世紀
松永安左工門氏寄贈
楕円形にゆがめた沓形茶碗。形のおもしろさが見どころです



3-3 禅と水墨画
—鎌倉~室町—

5/8 木 —6/15日—

◎一休和尚像(部分)

没倫紹等賛 室町時代・15世紀 岡崎正也氏寄贈
ぼさぼさの髪、伸び放題の髭。一休の姿が活写されています



3/25 火
5/6 火・休

◎白衣観音図 能阿弥筆
室町時代・応仁2年(1468) 文化庁蔵
足利將軍家に仕えた能阿弥の代表作です



3-2 宮廷の美術
—平安~室町—

5/8 木 —6/15日—

◎歌合切

伝藤原為氏筆 鎌倉時代・13世紀
小波文様(右)と小唐草文様(左)の雲母摺が美しい料紙です



3/25 火 —5/6 火・休—

◎日月山水図屏風

室町時代・16世紀
胡粉で盛り上げた桜など、美しい春の景を描く室町時代やまと絵屏風の代表作



2 国宝室

3/25 火 —4/20日—

◎十二天像(水天)

平安時代・9世紀 奈良・西大寺蔵
日本現存最古の十二天像。体つきや色づかいに盛唐文化の影響が窺えます



4/22 火 —5/25日— ◎延喜式 卷十二・卷十六 平安時代・11世紀

平安時代後期に書写されたまとまった写本としては現存最古。巻十二と巻十六を展示します(写真は巻十六)

1-1 日本美術のあけぼの
—縄文・弥生・古墳—

—6/15日—



◎火焔土器

縄文時代(中期)・前3000~前2000年
伝新潟県長岡市馬高出土
世界の先史土器の中でも、抜群の造形力をもつ火焔土器



◎蓮華文鬼瓦

飛鳥時代・7世紀 奈良県奈良市山町山村廃寺跡出土
屋根の棟両端を飾る瓦。初期の鬼瓦には重厚な蓮華文が施されます

1-2 仏教の興隆 — 飛鳥・奈良

3/25 火 —5/6 火・休—

◎日光菩薩坐像

奈良時代・8世紀 京都・金輪寺、高山寺旧蔵
顔立ちや均整のとれた体形など、天平時代の典型的な作風です



◎賢愚経断簡(大聖武)

伝聖武天皇筆 奈良時代・8世紀
賢者・愚者に関するたとえ話を収めた経。書風、料紙ともに王者の風格を備えています

3-1 仏教の美術
—平安~室町—

3/25 火 —5/6 火・休—

◎一字金輪像

鎌倉時代・13世紀
美しい線と明快な色彩が特徴の、鎌倉時代を代表する仏画です



術の流れ

江戸まで、どる日本美術史



入口

本館 1-1 室
日本美術のあけぼの
—縄文・弥生・古墳—

本館 1-2 室
仏教の興隆
—飛鳥・奈良—

本館 2 室
国宝室

特別1室

本館 3-1 室
仏教の美術
—平安~室町—

本館 3-2 室
宮廷の美術
—平安~室町—

本館 3-3 室
禅と水墨画
—鎌倉~室町—

本館 4 室
茶の美術

本館 5 室
武士の装い
—平安~江戸—

7 屏風と襖絵 — 安土桃山・江戸

4/8 火 - 5/18 日

特別展「栄西と建仁寺」(本誌4ページ参照)に出品中の作品に関連する屏風を展示します。

◎風神雷神図屏風

尾形光琳筆 江戸時代・18世紀

おなじみの風神雷神図。「栄西と建仁寺」展の国宝と見比べてみてください



5

6

武士の装い — 平安～江戸

3/25 火 - 6/15 日

◎黒章肩白威胴丸

南北朝時代・14世紀 藤原清子氏寄贈
南北朝から室町時代における典型的な形式を示した胴丸です



8-1 暮らしの調度 — 安土桃山・江戸

3/25 火 - 4/20 日

5/13 木 - 6/15 日



◎葵紋蒔絵野弁当

江戸時代・19世紀
野弁当は、花見や観楓などの行楽や、道中のための飲食器一揃



◎瓢形酒入

船田一琴作 江戸時代・天保14年(1843)
胴部に鍍金の桜花を散らした豪華な酒入



◎色絵石楠花図皿

江戸時代・17～18世紀 個人蔵
石楠花に岩ツツジを添えて、七寸の小さな画面にまとめあげています



8-2 書画の展開 — 安土桃山・江戸

4/20 日



◎源氏物語絵合・胡蝶図屏風

狩野晴川院(義信)筆 江戸時代・19世紀
春爛漫。春の仏事に、蝶の装束の童女が花を供える艶やかなシーン



9 能と歌舞伎

4/22 火 - 6/15 日

◎舞楽装束 還城楽 桶褌

江戸時代・19世紀
左方(唐楽)の「走舞」である「還城楽」では赤系統の桶褌をまとう



4/20 日

◎素襖 萌黄麻地宝篋模様

室町～安土桃山時代・16世紀
岐阜・春日神社蔵
中世の型紙で小紋模様を染めた珍しい素襖



◎桜賦

佐久間象山筆 江戸時代・19世紀
会津秀雄氏寄贈
幕末の思想家象山が書いた桜を讚える文章



◎観桜図屏風

住吉良慶筆 江戸時代・17世紀
西脇健治氏寄贈
散ればこそ、いと桜は/めでたけれ/憂き世になにか/久しかるべき



【衣装】

4/20 日

◎小袖 茶平絹地 椿枝垂柳掛軸模様

江戸時代・18世紀
柳の枝に掛軸をかけた、風雅な趣のある友禅模様



4/22 火 - 6/15 日

◎打掛 鼠地 唐織花文網目繫八橋蝴蝶模様

江戸時代・19世紀
王朝趣味を感じさせる雅やかな唐織の打掛



10 浮世絵と衣装 — 江戸

3/25 火 - 4/20 日

【浮世絵】

◎水野廬朝筆 江戸時代・18世紀
清線を名乗った旗本が余技で描いた繊細な肉筆美人画



◎桜下美人図

水野廬朝筆 江戸時代・18世紀
清線を名乗った旗本が余技で描いた繊細な肉筆美人画



4/22 火 - 5/18 日

◎四代目岩井半四郎の金太郎

歌川国政筆 江戸時代・18世紀
江戸時代中期の歌舞伎役者、四代目岩井半四郎が演じる金太郎を描いています

5/20 火

6/15 日

◎魚づくし・鯉、車鯰

歌川広重筆 江戸時代・19世紀
どこ産の魚かだつて? こいつは活きのいい江戸の錦絵だよ!



アジアを旅する

東洋館 3室

「西域の美術」

西域のエンジェル

有翼天使像

4月8日(火)～6月8日(日)

二十世紀初頭、日本の大谷探検隊が中国で収集した西域の美術品を中心に展示します。

今回は、西域南道を代表するオアシス都市ホータンの仏教寺院遺跡から出土した仏像、西域北道を代表するオアシス都市クチャにあるクムトラ石窟の仏像や壁画、そしてトウルフアンのアスターナ・カラホージャ古墓群から発見された副葬品、さらにミールンからもたらされた壁画、有翼天使像等をご紹介します。

東西の文化が行き交うシルクロードの美術をぜひご堪能ください。(勝木言一郎)



共命鳥

5世紀 中国・ヨートカン 大谷探検隊将来自品
上半身が人間、下半身が鳥、しかも人間の頭を二つ持つ空想上の動物

有翼天使像

3～4世紀 中国・ミールン出土 大谷探検隊将来自品
背中に鳥の翼を付けた天使のイメージが、東アジアにまで伝わっていたことを示す貴重な作品



東洋館 5室

「中国の染織」

複雑な織物の組織にご注目

遼時代の染織

3月11日(火)～6月8日(日)



白地双鶴雲文様錦
袍裂

中国 遼時代・10世紀
白や青といった寒色系の色合いは遼代錦の特色の一つ

遼(九一六～一一二五)は内蒙古の遊牧民族であった契丹族が、九一六年に中国東北部に建てた国です。その頃日本は、八九四年に遣唐使を廃止し、日本の織物も和様化されました。平安時代末期に日本で用いられた複雑な構造を持つ錦も、日本国内で独自に発展したものと考えられてきました。ところが、近年、平安時代後期の緯錦と同じ組織の錦が遼代の墳墓から数多く発掘され、日本で独自のものではなく、遼代錦の特色であることが明らかとなりました。この錦もまた遼墓から発見されたもので、袍(貴族の上衣)の一部と考えられます。

(小山弓弦葉)

東洋館 8室

「中国の書跡」

書は、芸術へと発展する

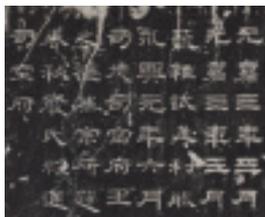
漢時代の書

4月8日(火)～6月8日(日)

前漢(前二〇六～後八)から後漢(二五～二二〇)まで、四百年に及ぶこの時期には、書が芸術として意識されはじめました。実用的な書体としては草書が普及するようになり、公式書体としてははじめ素朴であった隸書が、やがて美しい装飾的な筆法を具えるようになります。前漢の石碑は多くありませんが、後漢も桓帝(一四六～一六七)・靈帝(一六八～一八九)の頃になると、多くの名碑が作られました。

ここでは、漢時代に盛行した隸書の変遷を、石刻資料から概観します。

(富田淳)

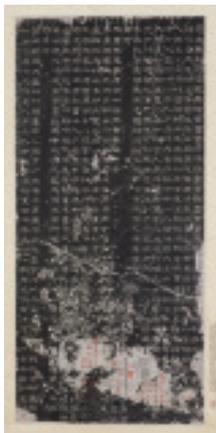


(部分)

乙瑛碑

中国 原碑:後漢時代・永興元年(153)
紙本墨拓 高島菊次郎氏寄贈

碑は山東省曲阜の孔子廟に現存します。礼碑器や史晨碑と共に、漢代隸書の代表作の一つ



東洋館 8室

「中国の絵画」

理想の姿で描かれた

文人たちの肖像

4月1日(火)～5月11日(日)



「どんな高位も故郷で釣り上げた一匹の鱸魚にはかなわない」。はやくこういう境地になりたいものです...



(部分)

もし機会があればどんな肖像画を残したいですか? 自分の容姿がどのように描かれるか、ということも当然気になります。それが、それ以上に、どんな空間で何と一緒に描かれるかにも気を使うでしょう。

中国の知識人たちは、読書したり自然の中を散策する姿で描かれることを好みました。それは決して自分が、財産や権力を握った人物としてではなく、文雅と教養を身に付けた「文人」として後世に記憶されることを、望んでいたためです。この展示では文人たちが理想とした自己イメージの姿を探っていきます。(塚本磨充)

●平成館 企画展示室

トリーハクにも熊がいます！

特集

「熊めぐり」

4月22日(火)～6月1日(日)

動物をテーマに、上野動物園・国立科学博物館・当館の三館園を回るツアー「上野の山でクマめぐり」の開催にあわせて、熊にまつわる作品を一挙公開します。

縄文時代に作られた土の熊、中国のお酒を入れる器、熊毛の靴、熊の文様が入った装束、熊が登場する浮世絵…などなど。どの作品からも作り手の熊に対する思いが感じられ、そこから人と熊との関わりを読み解くことができます。幅広い時代の作品を

●法隆寺宝物館 第2室

いま、お釈迦様が生まれる！

重文

摩耶夫人および天人像

通年展示

仏教をひらいた釈迦は、母の摩耶夫人がルンビニー園というところで、花咲く無憂樹の枝を手折ろうとした時、右腋下から生まれました。この彫刻はその様子を表すめづらしい作品です。夫人は右手を上げ、その袖から合掌した釈迦が姿を現します。かたわらにいてるのは天人です。釈迦は誕生すると七歩進んで天地を指差し、「天上天下唯我独尊(天にも地にも我ひとり尊い)」と叫びました。誕生日の四月八日には、灌仏会や花祭りと呼ばれる行事がおこなわれ、天地

通じて、人と熊の距離が時を経てどのように変化していったかを感じてください。

(神辺知加)



熊を掌に乗せる金太郎

鳥居清長筆
江戸時代・18世紀

逞猛な熊さえ手玉にとる金太郎が主題ですが、熊の見事な軽業に注目です

を指差す姿の像に甘茶をかけます。

(丸山士郎)



◎摩耶夫人および天人像

飛鳥時代・7世紀

釈迦誕生のシーンを立体的に表現した希少なミニチュア群像

1000年後の未来に バトンタッチ！

保存と修理情報

22

国宝 檜図屏風の修理

当館を代表する安土桃山時代の名品「国宝 檜図屏風(狩野永徳筆)」の本格修理が完了します。一昨年の平成二十四年十月に着手してから、ほぼ一年の歳月を要しました。近年、絵具剥落の危険や本紙の亀裂や裂けなど、危険な保存状態であったため修理の実施となりました。修理によって作品は安定した状態を取り戻すと共に、埃などによってくすんでしまった画面も、明るい色彩を取り戻すことができました。また修理中の詳細な調査によって、いくつかの新しい知見が得られるなど、実ある修理になりました。しばらくは修理後の状態を観察する必要がありますが、すぐには公開できませんが、平成二十七年二月十七日(火)から三月十五日(日)、本館2室にて、作品本体と共に修理経過と新たな知見をあわせてご紹介いたします。どうぞご期待ください。

(神庭信幸)



絵具の剥落止め作業を行う修理技術者。本修理はバンクオブアメリカ・メリルリンチの支援を受けて行っています



知る楽しみ、学ぶ喜び
講演会・解説・講座

講演会

月例講演会「端午の節句 鎧と兜」

日時:4月5日(土)13:30～15:00
講師:池田宏(上席研究員)
端午の節句を前に、鎧や兜の種類や飾り方をお話します。

月例講演会「帝室博物館のアイヌ・琉球展示について」

日時:5月24日(土)13:30～15:00
講師:佐々木利和(北海道大学 アイヌ・先住民研究センター特任教授)
「ひとつの列島、ふたつの国家、みつつの文化」という言葉をご存知ですか? 帝室博物館の所蔵品を通じて日本列島の中の異文化であったアイヌ文化と琉球文化についてお話します。

※会場は平成館大講堂、定員380名(先着順)、聴講無料(ただし、当日の入館料が必要)。
※開場は開始の30分前(予定より早める場合もございます)。

ギャラリートーク

名物「岡山藤四郎」について

日時:4月8日(火)14:00～14:30 本館13室
講師:酒井元樹(保存修復室研究員)
豊臣秀吉、小早川秀秋、徳川家康などに伝来した名物「岡山藤四郎」とみられる短刀について解説します。

新しくなった「近代の美術」の展示室

日時:4月15日(火)11:15～11:45
本館18室
講師:伊藤嘉章(学芸研究部長)
松嶋雅人(特別展室長)
展示室を新装した目的やそのために施した工夫、新ケースの効果などをお話します。あわせて絵画、彫刻、工芸の見どころを紹介いたします。 *関連展示:本誌3ページ



実動模型による展示ケース検討の様子

新しくなった17室のみどころ

日時:4月15日(火)13:30～14:00 本館17室
講師:土屋裕子(保存修復室長)
読む展示から見る展示へ17室は進化しました。「臨床保存」の3本柱「診断」「予防」「修理」を大画面モニター、収蔵庫棚展示、道具展示で解説します。
*関連展示:本誌2ページ

「本館リニューアル」と「正門プラザ」

日時:4月15日(火)14:30～15:00 東洋館シアター
講師:木下史青(デザイン室長)
当日にオープンを迎える「正門プラザ」と、本館の新しい展示デザインについてご紹介します。
*関連展示:本誌2～3ページ

あたらしい～
ボクのお・ウ・チ♪



アイヌの人びとの祈り

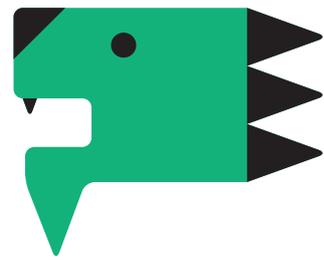
日時:4月22日(火)13:45～14:15 本館16室
講師:品川欣也(考古室研究員)
祈りに使われたさまざまな道具を通して、アイヌの人びとの生活や世界観をご紹介します。 *関連展示:本誌2ページ

歴史の記録

日時:4月22日(火)14:30～15:00 本館15室
講師:高橋裕次(博物館情報課長)
新しくなった本館15室「歴史の記録」について、わかりやすく解説します。
*関連展示:本誌2ページ

熊めぐり

日時:5月13日(火)14:00～14:30 平成館企画展示室
講師:神辺知加(教育講座室主任研究員)
縄文時代から明治時代までの熊に関する所蔵品をめぐりながら、人と熊の関わりを読み解きます。 *関連展示:本誌11ページ



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터

平成25年度の新たな館蔵品

日時:5月20日(火)14:00～14:30 本館特別2室
講師:田良島哲(調査研究課長)
博物館のコレクションは寄贈と購入によって充実したものになります。平成25年度新たに館の所蔵となった作品をご紹介します。
*関連展示:本誌7ページ

3つの形象土器

日時:5月27日(火)14:00～14:30
東洋館10室
講師:白井克也(平常展調整室長)
新羅の馬形容器、水禽形容器、そして車輪がついた謎の土器・車輪付双口容器を比べて鑑賞します。



○車輪付双口容器
三国時代(新羅)・5世紀 伝韓国昌寧出土

事前申込制 [はがき]

国際博物館の日 記念事業 三館園連携事業

「上野の山でクマめぐり」

あなたは「クマ」と聞いて何を思いうかべますか?昔から人の生活との関わりも深く、野生動物の中でもわりと身近なクマ。そんなクマの魅力をもっとくわしく知ってもらうため、東京国立博物館・国立科学博物館・上野動物園の3人の専門家が力を合わせ、ツアー形式のセミナーを開催します。その名も「上野の山でクマめぐり」! お友達どうし誘いあって、ぜひご応募ください。

日時:5月11日(日)9:00～14:20
会場:恩賜上野動物園⇒国立科学博物館⇒東京国立博物館
対象:開催時に小学5年生以上～高校3年生(小学生の申込は保護者1名の同伴が必要)
定員:30名 参加費:無料
持ち物:筆記具・昼食・飲み物をご持参ください。



博物画家が描いた熊
『博物館獣譜』博物局編
江戸～明治時代:19世紀

申込方法:はがきでお申込みください。
①講座名「上野の山でクマめぐり」、
②参加希望者の氏名・ふりがな(小学生の場合は、保護者の氏名・ふりがな)③セミナー開催時の学年、④参加証返信先の住所・氏名、⑤電話番号、⑥-1 今回のセミナーで見たいこと、知りたいことは何ですか?、⑥-2 「クマ」について、どんなイメージをもっていますか(何を思いうかべますか)?を明記の上、下記申込先にお送りください。

*1枚のはがきで小学生～高校生は、4名まで申込可。
申込先:〒110-8711 東京都台東区上野公園9-83 上野動物園 教育普及係「上野の山でクマめぐり」係
締切:4月23日(水) 当日消印有効
お問合せ:上野動物園教育普及係 03-3828-5171(代表)
*当日、取材が入る場合があります。ご了承ください。

五感を使った美術体験 ワークショップ

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

ワークショップ

「学芸員に挑戦！」

「作品をどうやって扱うのですか？」とても多く寄せられる質問です。作品の扱い方を知れば、展示も少し違う視点で見られるかもしれません。今回はレブリカを用い、作品の扱い方を体験していただきます。

日時：①5月25日(日) 10:00~12:00 ②5月25日(日) 14:00~16:00

会場：本館地下 教育普及スペース「みどりのライオン」

対象：①中学生・高校生 ②一般 *回によって対象が異なります。

定員：各回10名(応募者多数の場合には抽選)

参加費：無料(ただし、一般の方は当日の入館料が必要)

申込方法：当館ウェブサイトの申込フォームか往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな・年齢、(2)代表者の郵便番号・住所、(3)代表者の電話番号(4)希望の回(①・②のいずれか)を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。

*1回の入力あるいは1枚のはがきで、①②のどちらか一方のみ申込可。

*消費税率改定のため、新料金表示(104円)の往復はがきをご使用ください。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 教育普及室「学芸員に挑戦！」係

締切：4月23日(水) 必着



手に持ってみると展示室とは違う感覚で鑑賞できるはず

工程見本展示

平成25年度東京藝術大学大学院インターンシップ 調査研究班「突起装飾環」ができるまで

「突起装飾環」は青い斑点文があしらわれたガラスの器。一見かわいらしい作品ですが、調査を通じて、非常に薄く作られていることや高台がたいへん変わった形をしていること、さらに当初は表面に銀を用いた装飾が施されていた可能性などが明らかになりました。いくつかの異なる方法で試みられた制作結果を比べながらご覧いただき、「突起装飾環」がどうやって作られ、当初どのような姿をしていたのか、思いを馳せていただければ幸いです。今後、制作した東京藝術大学大学院インターンによるギャラリートーク等も予定しています。



工程見本を制作している様子

会場：本館19室 教育普及スペース「みどりのライオン」体験コーナー

期間：4月15日(火)~

制作(所属は2014年1月現在)：

○ガラス制作

地村洋平(美術研究科工芸専攻ガラス造形研究室 博士課程)、治部亜美香(同 博士課程)、齋藤裕(同 修士課程)、佐々木怜央(同 修士課程)、近岡令(同 修士課程)、藤枝奈々(同 修士課程)、栗田絵莉子(美術研究科芸術学専攻美術教育研究室 博士課程)

○表面装飾制作

岡田麻里恵(美術研究科工芸専攻漆芸研究室 修士課程)、日暮花里(同 修士課程)、渡辺諒子(同 修士課程)

○デザイン

小池俊起(美術研究科デザイン専攻視覚・伝達研究室 修士課程)

○進行

林佳美(美術研究科芸術学専攻工芸史研究室 博士課程)



突起装飾環(原品)

統一新羅時代:8~9世紀
伝朝鮮延白出土
小倉コレクション保存会寄贈

*原品「突起装飾環」は、4月8日(火)~2015年4月5日(日)、東洋館10室にて展示

あなたの鑑賞をサポート ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

こどもたちのアートスタジオ

「勾玉作り」

平成館考古展示室にある古代の勾玉を見学した後に、滑石を加工してオリジナルの勾玉を制作します。完成作品はお持ち帰りいただけます。

日時：①6月1日(日)、②7月6日(日) それぞれ13:30~15:30

会場：本館地下 教育普及スペース「みどりのライオン」

対象：小学校3年生~中学生(保護者の方の見学も可能です)

定員：15名程度(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし、保護者の方は当日の入館料が必要)



「勾玉作り」では工具を使って石をけずります

申込方法：当館ウェブサイトの申込フォームか往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな・学年、(2)参加者全員の郵便番号・住所、(3)代表者の電話番号、(4)保護者の方の見学の場合はその人数を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。*1回の入力あるいは1枚のはがきで、2名まで申込可。

*消費税率改定のため、新料金表示(104円)の往復はがきをご使用ください。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館 ボランティア室 ①「6月1日勾玉作り」、または②「7月6日勾玉作り」係
申込締切：①4月28日(月) ②6月9日(月) 必着

「ボランティアによる近代の美術ガイド」が始まります!

本館1階のリニューアルにあわせて、新たに「ボランティアによる近代の美術ガイド」が始まります。

このガイドでは、本館18室「近代の美術」に展示されている明治時代以降の絵画や彫刻などの作品をご紹介します。「はじめて博物館に来た」「18室の作品はじっくり見ることがない」「近代の作品は難しくてよくわからない」という方に作品を楽しむポイントをわかりやすくお話しします。ボランティアと一緒に近代の美術をお楽しみください。

近代の美術ガイド：5月以降の毎月第2日曜日 13:00~13:30

集合：本館1階エントランス

*ガイドの内容は、展示替えにあわせて変わります。

*「東洋館シアター」とは、TNM&TOPPANミュージアムシアターのことでです。

*事前申込プログラムにお申込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡いたします。実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先に電話でお問合せください。TEL:03-3822-1111(代表)

*各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

ピノキオ コンサート～大人と子どものための音・学・会 at 東京国立博物館～ 巨匠マルタ・アルゲリッチ 未来へのメッセージ

日時:5月14日(水) 開場16:45 開演17:15
会場:平成館ラウンジ
出演:マルタ・アルゲリッチ(ピアノ)、伊藤京子(ピアノ・おはなし)



©Rikimaru Hotta

主催:東京国立博物館、(公財)アルゲリッチ芸術振興財団
料金:無料 定員:200名
申込方法:郵便往復はがきでお申込みください。

初夏東博寄席

日時:6月1日(日)開場13:00 開演13:30
会場:平成館大講堂
出演:金原亭馬生、金原亭馬治、金原亭馬吉、金原亭駒松、扇家利和



主催:東京国立博物館
料金:2,000円(全席自由)
*当日は、公演チケットで総合文化展をご観覧いただけます。

チケットのお求め方法

- 当館正門チケット売場 受付時間:開館日の9:30～閉館の30分前まで
○電話予約販売
申込先:東京国立博物館 総務課イベント担当 TEL:03-3821-9270

資料館より漢籍のデータ整備と公開について

2009年より実施している漢籍のデータ整備によって、現在約37,000冊の漢籍(中国語図書を含む)が当館のOPACで検索可能です。



特別展「台北 国立故宮博物院一神品至宝」チケットプレゼント

本ページで紹介している特別展「台北 国立故宮博物院一神品至宝」(6月24日(火)～9月15日(月・祝))のご招待券を抽選で10組20名様にプレゼントします。

プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、職業、ならびにこの号で一番面白かった企画をご記入のうえ、下記までお送りください。

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館 広報室「ニュース4・5月号」プレゼント係



上野ミュージアムウィーク「国際博物館の日」記念事業2014

5月18日(日)の国際博物館の日を記念して、5月10日(土)～25日(日)の期間、上野の博物館・美術館など13の施設と商店でさまざまなイベントを開催します。

博物館ガイドアプリ「トーハクナビ」新コース追加、さらに使いやすく



「トーハクナビ」スタート画面

東京国立博物館の総合文化展の見学コースを紹介するアプリケーション「トーハクナビ」。新たに3つのコースが加わるほか、コースごとのダウンロードも可能になるなど、さらに使いやすくバージョンアップします。

【バージョンアップ版で公開するコース】「本館2階日本美術の流れコース」「本館1階日本美術ジャンル別コース」「東洋館コース」「平成館考古展示室コース」「法隆寺宝物館コース」「建物めぐりコース」

東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会員制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実にあてております。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。

*2014年4月1日以降、新会員制度になります。
詳細はウェブサイトまたはパンフレット等をご覧ください。
*お申込は随時受け付けております。

◎年会費

〈団体〉 プレミアム会員 1000万円以上/
特別会員 100万円(1口)/
維持会員 20万円

〈個人〉 プレミアム会員 100万円以上/
特別会員 20万円/維持会員 5万円

◎主な特典

- 特別展の内覧会にご招待
●東京国立博物館ニュースの送付

◎お問合せ

東京国立博物館 総務部 賛助会担当
電話 03-3822-1111(代)

東京国立博物館賛助会員 2014年2月26日現在

特別会員

Table listing special members with names and company names.

維持会員団体

Table listing member organizations across multiple columns.

維持会員個人

Large table listing individual members with names and addresses.

TNM & TOPPANミュージアムシアター

【4月～5月上演作品】

◎～4月20日(日)：VR作品『興福寺 国宝 阿修羅像』

◎～6月1日(日)：VR作品『アンコール遺跡バイヨン寺院—尊顔の記憶—』

◎4月22日(火)～7月13日(日)：VR作品『キトラ古墳』

料金：一般・大学生・高校生：500円、小学生・中学生：300円、未就学児、障がい者及び同伴者1名：無料(1作品/1回あたり)

*大学生以上は総合文化展当日券とセット購入で一般1,000円、大学生800円

*所要時間は約40分です。鑑賞には当日の予約が必要です。

*演目・スケジュールは都合により変更になる場合があります。

*詳細はウェブサイトをご覧ください。 <http://www.toppa-vr.jp/mt/>

『MUSEUM』648号(2014年2月15日発行)の掲載論文

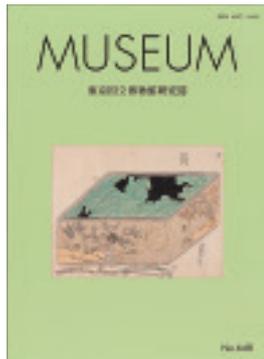
①《資料紹介》「黒楽茶碗 銘ムキ栗 長次郎作 齊藤孝正(当館首席研究員)」

②《調査報告》「狩野晴川院養信の宝物模本制作—天保十四年、熱海湯治に関わる模本—」安藤香織(徳川美術館学芸員)

③《研究ノート》「東京国立博物館の題箋の英語情報に関する分類と考察—作品名称の英訳方法について—」デービッド・ミラー(当館国際交流室研究員)

定価：1429円+消費税

お問合せ：当館ミュージアムショップまたは中央公論事業出版(電話03-3535-1321)



クリーブランドで日本の近代美術展開催!

2月16日より当館との交換展として、米国・クリーブランド美術館で「伝統の再創造：東京国立博物館所蔵 日本の近代美術」展が開催されています。

クリーブランド美術館は、全面改修を終え、今年の1月に再オープンしましたが、本展は改修後初の企画展となります。岸田劉生「麗子像」、横山大観「雲中富士」など、絵画、書跡、彫刻、工芸と幅広い分野から選りすぐった当館の近代美術作品55件を展覧、明治期以降、いかに新しい日本美術の「伝統」が創られたかを探ろうという試みです。改修後一新された日本美術の展示室と合わせ、クリーブランドの地で中世から近代まで、日本美術の歴史が概観できます(展覧会は5月11日まで開催)。



新しい大講堂で約600人が出席し開会式が盛大に行われました

国立博物館の展示案内

【京都国立博物館】

特別展「南山城の古寺巡礼」

4月22日(火)～6月15日(日)

【奈良国立博物館】

特別展「武家のみやこ 鎌倉の仏像—迫真とエキゾチズム—」

4月5日(土)～6月1日(日)

【九州国立博物館】

特別展「華麗なる宮廷文化 近衛家の国宝 京都・陽明文庫展」

4月15日(火)～6月8日(日)

東京国立博物館利用案内

開館時間：

9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)

●3月28日(金)～12月の特別展開催期間中の金曜日は20:00まで

●3月29日(土)～12月7日(日)の土・日曜、祝・休日は18:00まで

●6月24日(火)～7月7日(月)、10月3日(金)～5日(日)、11月1日(土)、2日(日)は20:00まで(6月30日(月)、7月7日(月)は特別展会場のみ開館し、総合文化展は閉室)。

休館日：

月曜日(祝日・休日にあたる場合は開館、翌火曜日休館)、年末年始

●ただし、4月28日(月)、8月11日(月)は開館。6月30日(月)、7月7日(月)、8月18日(月)、8月25日(月)は特別展会場のみ開館。

●6月3日(火)は電気設備等保守点検のため、臨時休館。

●2014年の年末は12月23日(火・祝)まで開館、2015年は1月2日(金)から開館

*特別展等の開催に伴い、開館時間及び休館日は変更になることがあります。

総合文化展観覧料金：

一般＝620(520)円、大学生＝410(310)円

●4月1日より料金改定。(3月31日まで、一般600円、大学生400円)

●()内は20名以上の団体料金。

●障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。

●満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方の総合文化展観覧は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください。

●国際博物館の日(5月18日(日))、敬老の日(2014年は9月15日(月・祝))は、総合文化展のみ無料。

東京国立博物館友の会&パスポート

※4月1日より会員制度を変更します。

友の会

発行日から1年間有効

年会費10,300円

※継続入会(パスポート・ベーシックを含む)の場合は9,800円

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に関しては観覧券を12枚配布。そのほか本紙の定期郵送など様々な特典があります。詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。

パスポート

発行日から1年間有効

一般4,100円/29歳以下3,000円/学生2,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でも、お好きな特別展を1回ずつ計6回までご覧いただけます。

ベーシック

発行日から1年間有効

一般1,500円/29歳以下1,100円/学生900円

【特典】東京国立博物館の総合文化展がいつでも無料でご覧いただけます。

*建物改修等のため、京都国立博物館の平常展示館、東京国立博物館の黒田記念館など一部展示館を閉館しています。

◎お申込は当館窓口(即日発行)、郵便振替または当館ウェブサイト

【郵便振替でのお申込】

●振替用紙に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書でご記入ください。

●振替用紙の半券が領収書になります。会員証等が届くまで保管しておいてください。

●振替手数料はお客様負担となります。

●ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会
口座番号00160-6-406616

●振替用紙には申込区分(新規・継続)、友の会の継続割引の方は、有効期限内の会員証等のコピーを郵送またはFAXでお送りください。

パスポート、ベーシック

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート&ニュース
口座番号00140-1-668060

●振替用紙には申込区分([パスポート・ベーシック][一般・29歳以下・学生])、29歳以下の方は、年齢のわかる身分証明証のコピーを、学生は、学生証のコピーを郵送またはFAXでお送りください。

◎お問合せ

電話03-3822-1111(代)友の会・パスポート担当
FAX03-3821-9680

東京国立博物館ニュースの定期購読のご案内

年間(6冊分)を1,000円の送料・事務費でご自宅にお届けします。パスポート・ベーシックとの同時申込で100円割引(会員期間と同一期間の購読に限る)。

◎お申込は郵便振替で

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート&ニュース
口座番号00140-1-668060

●振替用紙に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書でご記入ください。

●振替用紙の半券が領収書になります。1年間保管しておいてください。

●振替手数料はお客様負担となります。

●次号よりご送付希望の場合、締切は2014年5月10日です。

東京国立博物館メールマガジン・Twitter、Facebookのご案内

展示・催し物の情報をいち早くお届けします。

●ご登録、アクセスは<http://www.tnm.jp/>から

1 火	●G「十二ヶ月花鳥図屏風」14:00 本館7室*1 ●建11:00 ●桜コンサート13:00 法隆寺宝物館*1 ●東博でパッハvol.20 19:00 法隆寺宝物館*2	特別展「栄西と建仁寺」 春の庭園開放 博物館でお花見を
2 水	●G「屏風に咲く桜」14:00 本館7室*1	
3 木		
4 金	夜間開館(20:00まで) 法 15:00	
5 土	時間延長(18:00まで) 講「端午の節句 鎧と兜」13:30 平成館大講堂*3 ●W「桜ワークショップ」11:00～15:00 平成館ラウンジ*1 ●樹13:30 ●本14:00	
6 日	時間延長(18:00まで) ●W「桜ワークショップ」11:00～15:00 平成館ラウンジ*1 ●浮14:00 ●考14:30 ●桜コンサート11:00 正門内池前*1	
7 月	休館日	
8 火	G「名物「岡山藤四郎」について」14:00 本館13室*3	
9 水	●G「桜で作られた仏像」14:00 本館11室*1 ●樹13:30	
10 木	●本14:00 庭14:00 ●東博でパッハvol.21 19:00 法隆寺宝物館*2	
11 金	夜間開館(20:00まで) ●英14:00	
12 土	時間延長(18:00まで) 【栄西】講「栄西と茶の歴史」13:30 平成館大講堂*4 ●陶14:30	
13 日	時間延長(18:00まで) ●浮14:00	
14 月	休館日	
15 火	G「新しくなった「近代の美術」の展示室」11:15 本館18室*3 G「新しくなった17室のみどころ」13:30 本館17室*3 G「《本館リニューアル》と《正門プラザ》」14:30 東洋館シアター*3	
16 水	●樹13:30	
17 木	彫15:00	
18 金	夜間開館(20:00まで)	
19 土	時間延長(18:00まで) 【栄西】講「建仁寺ゆかりの美術」13:30 平成館大講堂*4 建11:00 本14:00 法15:00	
20 日	時間延長(18:00まで) 英11:00 東11:00 茶12:30 浮14:00 考14:30	
21 月	休館日	
22 火	G「アイヌの人びとの祈り」13:45 本館16室*3 特別展「キトラ古墳壁画」 G「歴史の記録」14:30 本館15室*3	
23 水		
24 木	本14:00	
25 金	夜間開館(20:00まで)	
26 土	時間延長(18:00まで) 【キトラ】講「キトラ古墳壁画保護の歩み」13:30 平成館大講堂*5 陶14:30	
27 日	時間延長(18:00まで) 彫11:00 庭14:00	
28 月		
29 火・祝	時間延長(18:00まで)	
30 水		

1 木	
2 金	夜間開館(20:00まで) 法15:00
3 土・祝	時間延長(18:00まで) 【キトラ】講「キトラ古墳壁画に迫る—高松塚古墳壁画との比較から—」13:30 平成館大講堂*5 ●樹13:30 本14:00
4 日・祝	時間延長(18:00まで) 浮14:00 考14:30
5 月・祝	時間延長(18:00まで)
6 火・休	時間延長(18:00まで) 建11:00
7 水	休館日
8 木	庭14:00 本14:00
9 金	夜間開館(20:00まで) 英14:00
10 土	時間延長(18:00まで) 陶14:30
11 日	時間延長(18:00まで) 国際博物館の日記念事業「上野の山でクマめぐり」*6 9:00 近13:00 浮14:00
12 月	休館日
13 火	G「熊めぐり」14:00 平成館企画展示室*3
14 水	♪ピノキオ コンサート 17:15 平成館ラウンジ*7
15 木	彫15:00
16 金	夜間開館(20:00まで)
17 土	時間延長(18:00まで) 建11:00(手話通訳付) 本14:00 法15:00
18 日	時間延長(18:00まで) 国際博物館の日 総合文化展無料観覧日 英11:00 東11:00 茶12:30 浮14:00 考14:30
19 月	休館日
20 火	G「平成25年度の新たな館蔵品」14:00 本館特別2室*3
21 水	●樹13:30
22 木	●本14:00
23 金	
24 土	時間延長(18:00まで) 講「帝室博物館のアイヌ・琉球展示について」13:30 平成館大講堂*3 陶14:30
25 日	時間延長(18:00まで) W「学芸員に挑戦!」①10:00～12:00、②14:00～16:00 本館地下*8 彫11:00 庭14:00
26 月	休館日
27 火	G「3つの形象土器」14:00 東洋館10室*3
28 水	
29 木	
30 金	
31 土	時間延長(18:00まで)

【栄西】=特別展「栄西と建仁寺」関連事業 【キトラ】=特別展「キトラ古墳壁画」関連事業 ●=「博物館でお花見を」関連事業 *1:詳細は本誌3ページ *2:有料イベント。詳細は本誌前号3ページ *3:詳細は本誌12ページ *4:事前申込制。申込は締め切りました *5:事前申込制。詳細は本誌5ページ *6:事前申込制。詳細は本誌12ページ *7:事前申込制。詳細は本誌14ページ *8:事前申込制。詳細は本誌13ページ

- 講=月例講演会等
- G=ギャラリートーク
- W=ワークショップ
- 本=ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所:本館1階エントランス
- 浮=ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所:本館1階エントランス
- 陶=ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所:本館1階エントランス
- 彫=ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所:本館1階エントランス
- 樹=ボランティアによる樹木ツアー(庭園開放時は、前庭と北側庭園の樹木をご案内します。)、集合場所:本館1階エントランス
- 考=ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所:平成館考古展示室入口

- 法=ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所:法隆寺宝物館1階エントランス
 - 茶=ボランティアによる応挙館での茶会、集合場所:本館1階エントランス(参加費500円、先着15名、各回開始30分前に集合場所で整理券配布)
 - 庭=ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所:本館1階エントランス(先着15名、各回開始30分前に集合場所で整理券配布)
 - 英=ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合場所:本館1階エントランス
 - 建=ボランティアによるたてもの散歩ツアー、集合場所:本館1階エントランス
 - 近=ボランティアによる近代の美術ガイド、集合場所:本館1階エントランス
 - 東=ボランティアによる東洋館ツアー、集合場所:東洋館1階エントランス
- *屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。